

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	現在、玄関の施錠が常態化しつつあります。防犯上であっても、利用者にとっては、拘束している状況となっています。身体拘束に関する研修を再度確認し、短時間ずつでも開錠する時間帯を設けていただくことなどの検討が必要。	防犯上の玄関の施錠は行ってまますが、利用者様が外へ出たいと言われた時、一緒に外に出るようにする。	身体拘束に関する研修を行い、玄関の施錠は、当たり前ではないということの認識を変えていく。	12ヶ月
2	1	現在の理念、コンセプトなどが決められているが、たくさんの言葉でわかりにくい部分もあります。地域密着型事業所としてのよりどころとなるような言葉にまとめることが必要。	しっかりと理念を周知していく。	ミーティングで唱和し周知していく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。